

2017年4月14日 第3196回例会
於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 谷 会長
 <斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」
 <唱 和> 「四つのテスト」
 <ゲスト紹介> *東日本電信電話神奈川事業部 オフィス営業部長 金 高 泰 二 様
 *メルキュールホテル横須賀 総支配人 猿 丸 新 二 様
 <誕生月祝> ・若麻績 泰 道 (S.21.4.9) ・西 村 京 子 (S.51.4.10)
 ・岩 瀬 厚 (S.32.4.13) ・新 倉 定 治 (S.16.4.14)
 ・藤 村 昌 一 (S.34.4.14) ・西 村 安 彦 (S.32.4.25)
 ・三 堀 孝 夫 (S.25.4.30) 各会員
 <入会月祝> ・丸 山 晁 巨 ・上 原 英 雄 ・萩生田 徹 ・若麻績 泰 道
 ・石 田 重 蔵 ・外 崎 信 一 ・渡 辺 重 博 ・関 口 太 郎
 ・植 田 威 ・薦 野 彰 各会員
 <会長報告> *ガバナー事務所より
 ・青少年交換学生オリエンテーション開催の件について
 5月6日(土) 14:30~16:00 於：第一相澤ビル6F「会議室」
 ・補助金管理セミナー(グローバル補助金向け)開催のご案内
 5月16日(火) 13:30~15:30 於：第一相澤ビル6F「会議室」
 *横須賀ロータリーアクトクラブより第1025回例会のご案内
 日時：4月25日(火) 19:45 点鐘
 場所：ヨコスカタラス

- <委員長報告> *雑誌委員会 瀬戸委員長よりロータリーの友4月号
 *出席委員会 澤田委員長より3月分出席報告 3月平均出席率 74.75%

	会員数	出席対象者数	出席数	欠席数	メイクアップ数	出席率
3月 3日	111名	95名	61名	34名	9名	72.16%
10日	111名	95名	55名	40名	14名	71.13%
17日	111名	93名	61名	32名	10名	73.20%
24日	111名	93名	54名	39名	19名	75.26%
31日	111名	99名	68名	31名	14名	82.00%

- *インターアクト委員会 高橋(隆)委員長より第11回アクトアズミーティング報告
 *前川カウンセラーより新規米山奨学生オリエンテーション報告
 *ロータリーアクト委員会 曾我委員長より4月25日(火) 第1025例会報告
 内容：次年度観音崎合同例会について

- <幹事報告> *ガバナー月信 No.10
 *例会終了後第10回理事役員会開催(302研修室)

<出席報告> *出席委員会 澤田委員長より4月14日の出席率

会 員 数	出席対象者数	出 席 数	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
111名	99名	68名	31名	14名	82.00%

- <ニコニコ報告>
 ・三 役 東日本電信電話(株)神奈川事業部オフィス営業部長 金高泰二様、本日の卓話お引き受けいただきありがとうございます。宜しくお願いいたします。
 ・加藤 倫、福 西、澤 田、勝 見、田 邊、高橋 倫、長 尾 各会員
 東日本電信電話(株)神奈川営業オフィス営業部長 金高泰二様、本日の卓話よろしく
 お願い致します。

- ・新倉 倫、藤 村 両会員 誕生月祝いとして
- ・丸 山、萩生田、外 崎、渡辺 倫、薦 野 各会員 入会月祝いとして
- ・高橋 倫 会員 4月1日で三浦学苑理事長になりました。文武両道で横須賀に三浦ありと言われるよう頑張ります。
- ・齋藤 倫、飯 塚 両会員 高橋理事長、就任おめでとうございます。お祝いの言葉だけですみません。
- ・軍 司 会員 短い間でしたが大変お世話になりました。又、皆様にお会いできる日を夢見て、京都に参ります。
- ・山 下、萩生田、鈴木 倫、福 西、澤 田、勝 見、鈴木 倫、新倉 倫、八 木、渡辺 倫、山 ・、 田 邊、井 苺、勝 間、大 竹、前 川、高橋 倫、根 岸、長 坂、藤 原、秋 本、前 田、齋藤 倫 各会員
 メルキュール総支配人 軍司会員、ごくろうさまでした。京都案内お願いします。
- ・Enora 会員 きたむらさん、たかはしさん、いかりさん、かつまさん、さわださん、まえかわさん、ふくにしさん、にしむらさん、みやげさん、きのう、ばんごはんありがとうございます。ありがとうございました。
- ・丸 山 会員 御無沙汰しておりました。
- ・徳 永 会員 ご心配をおかけしました。
- ・山 下、瀬 戸、久保田 各会員 春ですね。
- ・鈴木 倫、勝間 両会員 写真をいただいて
- ・物 井 SAA 谷年度、最後のテーブルは女性会員増強と活躍を願って、テーブルマスターは女性、サブマスターは自他共に認める女性に優しい会員を厳選させて頂きました。

<卓 話> 「運営に役立つセキュリティ対策はこれだ！」
 東日本電信電話(株)神奈川事業部
 オフィス営業部長 金 高 泰 二 様

みなさん、こんにちは「私は、神奈川エリアで事業所様向けの営業をしております金高」と申します。本日は、このような機会を頂きまして、ありがとうございます。また、日頃から弊社通信サービスをご愛顧いただきまして、かさねて御礼申し上げます。どうぞ、最後までお聞き下さいますよう、よろしくお願い致します。

2016年マイナンバー利用ですべての企業が「特定個人情報」を扱うこととなり、今まで以上に「社内の顧客管理はもとより社員管理」のセキュリティ体制強化の必要性が必要になって参ります。そのような背景の中で今、「インターネット環境においてはウイルスや情報漏洩、フィッシング詐欺等、多くのインシデントが日々発生しております。特に本日皆様にお伝えしたい、今一番注意して頂きたいのが、会社のパソコンにウイルスを流し、パソコン内のファイルが開けなくなり、「暗号化解除のための金銭要求をする」という、ランサムウェアの被害が多発しているということです。この日本でも1年前の約9倍に急増しています。これは、対岸の火事ではありません、もし、インシデントが発生した場合、それは社会的信頼の失墜もさることながら、収益にも大きな影響を与えます。いつ自分の会社が狙われるかもしれません。



そこで本日は、「最近の被害事例のご紹介」、「近年のセキュリティ被害の種類」をお話しし、その対策として、NTT東日本が企業の皆様へお手伝いできるサービスのご紹介をさせて頂きます。

皆様に最近の被害事例をお話する前に、独立行政法人情報処理推進機構がまとめ今年1月に発表した「情報セキュリティにおける脅威のトップ10」によると「組織」の10大脅威の部では、ご覧頂くように昨年7位だった「ランサムウェアによる被害」が2位となっております。

また、昨年圏外であった「IoT機器の脆弱性の顕在化」は8位となっております。

参考に「個人」の10大脅威の部では、「インターネットバンキングやクレジット情報の不正利用」が2年連続1位となっております。それでは、最近のセキュリティ被害の事例を紹介します。

まずは、昨年7月に起こった社員約900名規模の印刷通販会社のことです。会社のHPに脆弱性があったことで、そこから海外のサーバから不正アクセスされ、データベースの顧客情報を約9000件、盗まれた事例です。そして、8月に発生した事例は、メールから感染されたものであります。

電気工事会社が端末設定に脆弱性があったのが原因で、メールに添付されているファイルを開いたことで、ファイルサーバに入り込まれ「顧客情報を盗まれた」事例です。

また、イベント会社が450名の若手の方に応募を募って、その詳細の内容を提供しようとした際に「送信先メールアドレスを誤ってあて先設定して送信した」ことで、応募者全員のメールアドレスが丸見えになってしまった事例です。社員の意識が低かったので丸見えとなった、人為的なミスなので「社員教育が必要ではないか」という事例になります。

そのような情報セキュリティトラブルによって発生する被害額は、経済産業省中小企業白書によりますと「中小企業の約35%が、なんらかのセキュリティトラブルの被害にあっている」、そして「大企業ばかりでなく」、「小さい企業」も約65%被害にあっています。

今までご紹介しました事例の被害の要点をまとめますと、「標的型攻撃メール」、「WEBサイトの改ざん」、「不正送金(フィッシング詐欺)」、「ランサムウェア」です。そして今、非常に気をつけて頂きたい身近なものをカテゴリ別に紹介します。1つ目は、「日本郵政からのメールのように送信」や「インターネットを悪用する悪徳業者」の標的型攻撃メールです。

2つ目は、「WEB改ざんによるインターネットからの攻撃」です。こういったWEB改ざんされないために御社のWEB環境の脆弱性を判定できるWEB審査を弊社でもありますが、他のSierさんもできますので一度お試しく下さい。3つ目は、ネットバンキング利用でリスクが増加している「不正送金(フィッシング詐欺)」で、IDパスワードを盗まれ、年間30億円の被害が発生しております。

これは、被害にあった企業がしっかりとセキュリティ対策を講じていない場合、全国銀行協会では「被害金額の減額、または補償外になる」と記載されております。最後は「ランサムウェア」で、ウイルスを侵入させPC内にあるファイルにロックをかけ、解除するための「身代金」を要求されます。

実際に被害を受けた方は業務に支障をきたすため、支払いに応じてしまうケースがあり、支払っても元にもどる保障はありません。そして、支払い方法もたくみでビットコインによる支払いですのなかなか捕まらないのが現状のようです。

一度支払いに応じると「カモリスト」に入り、何度も攻撃を受ける場合があります、最近聞いた話では横浜市内のある企業がセキュリティ対策の弱かった部署が狙われ、そこから重要なデータにロックをかけられたケースもありました。(被害額30万円)また、このランサムウェアをネタにしたものを、TVドラマで使用するほどになっており、昨年の高視聴率をマークしました「ドクターX大門未知子」でもランサムウェアを取り上げたほどです。1年前の9倍もの急増は一つの社会現象とも言えます。

実際にどのような手口で仕掛けてくるのかをご紹介とウイルスに感染しますと「72時間以内にBitcoinで身代金を払うよう要求」、支払わないと「1時間ごとにファイルを“1つ”ずつ消去し、被害者に身代金を払うように圧力をかける」、ファイルは1度に「1~1000個」消去されるなどの「JIGSAW(ジグソー)」という事例が報告されています。また、HDD内のあらゆるファイルを暗号化、その拡張子を「～.locky」に変えてしまい利用不可能な状態にしてしまう「ロッキー」というものがあります。

また、ランサムウェアの被害について紹介しますと、マイクロソフト社が昨年実態調査した結果では、「勤めている企業・組織が実際にランサムウェア攻撃にあったことがあるか？」の問い対し、「攻撃にあったことがある」と回答された方は、実に「4人に1人が被害にあった」と回答されています。

しかしながら、35%の企業の皆様は「自社が被害に遭う可能性など無い」と考えております。これは「対岸の火事ではありません」とご認識下さい。そして、「支払ってしまった身代金」は300万円以上が過半数です。“身代金”を支払ってもファイル(データ)が完全に戻る保証はありません。

このような状況の中でも、実際ランサムウェア対策を講じている企業は「従業員49名以下で5.7%」、「従業員5,000人以上の規模でも50%」しか対策をしていない状況です。

経営者の皆様にお考え頂きたいことは、サイバー攻撃に対する防衛力の向上ため、「セキュリティ投資

をすべきか」の経営判断です。セキュリティ対策は儲かるものではありませんが、一度投資すれば、被害を受けた時のリスクを考えると非常に重要なことと思います。

そして、取引の皆様にも同じレベルでセキュリティ対策を進めていくことも重要です。「サイバー攻撃」が拡がることで今、神田明神の「IT情報安全祈願」のお守りも販売されております。これはあくまでも気持ちの問題だけですので、ちょっとコマーシャルベースになってしまいますが、弊社セキュリティ対策のお手伝いメニューをご紹介します。私どもが皆様へご紹介するセキュリティ対策には大きく4つあります。

それは「端末・ネットワークで保護、クラウドで保管、社員教育」です。

1つ目は、皆様の会社に設置されております「パソコン」をサイバー攻撃から守るものです。

調査によりますと、「ご利用中のパソコンにはウイルス対策用ソフトを導入している？」との問いに、90%以上の企業が「端末向けウイルス対策を導入している」と答えておりが、その半数以上が、量販店等で購入したウイルス対策ソフトを使用していると答えており、その約5割がセキュリティ対策を社員任せにしています。

新しいウイルスは、家電量販店で販売している個人向けのウイルス対策ソフトでは防げません。

そのような現状を踏まえ、どう防いでいけばいいかと申しますと法人向け総合セキュリティソフトで新たなウイルスを検知するソフトの導入が重要なポイントとなります。手軽に、手離れよくウイルス対策を「いつもライセンス自動更新、一元管理」等ができます「まるごとアンチウイルス」があります。

しかしながら、「情報管理責任者なんていない、人件費はかけたくない」企業にITサポート&セキュリティもあり、情報管理責任者になり代わって「ウイルスの監視」を致します。

2つ目は、端末上部のネットワークからのサイバー攻撃から守るUTMです。「端末防御」はネットワークを経由し、ウイルスが入ってきたものを駆除するものでしたが、このUTMは「標的型攻撃メール、不正WEBサイト、メール添付ファイル、フィッシング詐欺」からの攻撃をブロックすることができる装置です。端末はいわゆる「処方箋」で、UTMは「入口ブロックする」役目です。

ウイルス対策を「端末自体のセキュリティ」とUTMで「インターネットの出入り口」を「多層防御」することで、「より強固なセキュリティ」を実現できます。

3つ目は、「様々なデータファイルを別のネットワークに保管」するクラウド型のサービスです。

更に強固なセキュリティ環境のお勧めは、自社内に大切なデータを保管するのではなく、オンラインストレージによるデータ保管です。

万が一ランサムウェアの攻撃を受けても速やかに復旧できる「FLET’SあずけーるPRO」があります。

一般的にデータ保管する場合の認証は「IDとパスワード」ですが、このあずけーるPROは、「回線認証」も行うため、より一層セキュリティが高いものとなっております。更に3月末から開始しました「まるらくオフィス」であれば、ICT環境を「導入・運用・故障対応」を一元的にサポート致します。

例えば「365日24時間の故障対応」はもとより、「ビジネスホン・ルータをクラウド上に預けて、事務所には電話機・パソコンだけ、設置すれば良い」と非常にシンプルな通信環境も実現できます。

4つ目は、「社員教育」です。会社を守るには、社員一人ひとりの意識の向上も重要です。

皆様もご記憶にあるかと思いますが、「ベネッセ」という会社でこころない社員が顧客情報を抜いて、顧客情報を売買したという事例です。この時、私のところにも「謝罪文と図書カード500円」が届きましたが、利用されたお客様全員にお送りする「郵送料や図書カード」の被害額の損出は本当に甚大なものです。

まさに社員一人一人ひとりのモラル意識の向上として、社員教育として「情報セキュリティ、eラーニング」ということもできます。弊社もこの「eラーニング」を導入し、全社員が100点クリアするまで実施するような教育を年2回以上、行っております。最後に本日、皆様へお伝えしたいことをまとめました。

サイバー攻撃から身を守る重要性について、ご説明致しましたが、本日、是非覚えて頂きたいことです。皆様、明日会社に出社された際にシステム担当者の方に「ランサムウェアって知ってる？」と「うちはUTM(総合脅威管理)」は入っている？」を確認してみてください。

もし、導入されていなければ実際、御社のパソコン環境がどれだけ危険を伴っているかを無料で診断させて頂きます。「セキュリティ危険度をチェック」ができるツールで数分お時間頂ければ診断できます。

最後は別の話ですが、今年2月に加藤会員からもお知らせしました「NTT東日本が運営する「Biz Drive(ビズドライブ)」というメルマガです。ICTを中心とした様々な情報やちょっとしたビジネスに

関する話題も定期的にメールで提供しますので、よろしければ登録させてください。

以上で、私からの情報セキュリティ対策のお話を終了させていただきます。

ご静聴ありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 谷 会長

週報担当 信 木 啓 輔